

## 「Arius3D, Inc.株主説明会(28/29日)の追加説明」

6月28、29日に行われたArius3D, Inc.の株主説明会で行われたMr. Jim McGlone氏のプレゼンテーションは翻訳付きの小冊子の内容を基に行われました。Jimは小冊子に記載されている内容について多く補足説明をし、また参加した投資家の皆様からの質問にも詳しく答えました。

下記は、補足説明と質問に対する回答の記載です。

### 【1 ページ：企業概要】

正確な立体映像をインターネットで瞬時にどこへでも送れるArius3D, Inc.の技術の世界パテントはカナダ政府によって所有され、侵犯には政府が戦ってくれるのでArius3D, Inc.にはリスクが無い。またパテントのライセンス契約は「無期限」なのでパテントオーナーと同様のメリットが保証されている。

### 【2 ページ：資本（上場）戦略】

今後のIPO戦略は2段階で行う。まずはToronto Venture Exchange(トロント・ベンチャー・エクスチェンジ市場)に上場し、次にロンドン、ニューヨークへと順次上場を果たす。

### 【3 ページ：トロント・ベンチャー市場】

トロント・ベンチャー市場は、東証2部のように初期市場で上位市場（東証1部）やロンドン、ニューヨーク市場への足がかりである。

いかに早期に上位市場や海外市場へのIPOを果たすかは今後の事業展開にかかっている。今Arius3D, Inc.の業績は飛躍的に伸びていて、既に二件の契約が成立しているアイルランドの投資家会社の一大プロジェクトが9月に発表されると株価に大きなインパクトを与えるだろう。

### 【4 ページ：何故CPCか？】

カナダには独特のIPO方式がある。CPC (Capital Pool Company=資本集約会社)方式である。CPCとは将来的持株会社とでも言うべきもので、あらかじめ本体企業を買収または統合することを前提に、先ずCPCを上場させる。そして上場後本体企業と一体となる方式である。

この方式はIPOにとって最も短期間、効率的で容易である。

## 【5 ページ：IPOの行程とタイミング】

4 ページで述べたように、IPOに当たってCPC程いい方式は無いのだが、CPC方式の採用とIPO認可は簡単ではない（誰でも出来ることではない）

1. 証券取引委員会が、認めるビジネス界で最も「信頼のできる者」でCPCの役員が構成されていなくてはならない。
2. IPOを担当する投資銀行も証券取引委員会が認める一流銀行（証券会社）でなくてはならない。
3. IPOに必要な十分な資金が確保されていること。
4. 目論見書が証券取引委員会が認める立派な内容でなくてはならない。
5. 上記が完璧ならIPOは承認される

6月29日（カナダ時間28日）現在1-4は完了している。  
現在証券取引委員会からの通知待ちである。

次なる手続はCPCとArius3D, Inc.との合体作業です。合体後の市場登録名は当然Arius3D, Inc.となります。

## 【6 ページ：転換社債の同時発行】

合体前にArius3D, Inc.は転換社債を発行する。その転換価格は市場価格の10%引きであり、転換された普通株は転換後の市場での売買が可能である。

## 【7 ページ：合体方式】

どのような合体方式を採用するかは、専門弁護士や投資銀行のアドバイスに従うが、合併が望ましい。何故なら株数の変化、税務問題等が起きないからである。

投資銀行ではすでに合併方式を探る場合に必要な資金は調達済である。

## 【8 ページ：合体のタイミング】

合体終了にいたるタイミングは下記の通りである。

1. CPCとArius3D, Inc.との合併契約  
(法律事務所の仕事)：7月中。
2. 合併合意書の証券取引委員会承認：7-9月の間  
7-9月の間何時でも承認され、何時でも市場に合併が登録されるが、そのタイミングが株価にとって重要である。会社からのGood News発表と時期を合わせる事が重要である。この点は投資銀行の助言に従うべきである。

3. 正式合体とは、証券取引委員会に合併合意書の確認で、これは届出制で許可制ではないので不承認等のリスクは無い。
4. 合体登録とは、市場へ合体を発表して新たな Finance(試算内容)を登録することである。

#### 【9 ページ：合体のタイミング】

前述のように、IPOの承認を得ているので、合併と合併登録に時間はかからないが、考慮しなくてはならないのは夏季休暇と Good News 発表のタイミングである。投資銀行は9月登録が最適とアドバイスしている。

#### 【10 ページ：株価について】

投資銀行のアドバイスでは、Initial price(上場価格)は1ドル(カナダドル)以下の35セントが妥当である。それは35セントから1ドルまで容易に上げることができるからだという。

上場時の高値より、上場価格をむしろ安い値段にして持株を増やしたほうが投資家に有利である。

ということかという、Arius3D, Inc.の株価の Value (価値) は：1株=1米ドルだから、もしカナダドル35セント(33セント米ドル)を上場価格に設定すると、株主の1株は3倍(33セントは1ドルの3分の1だから)の3株になる。(株式分割)

株価が1ドルになるまでは早く、1ドルを超えるとまた別の投資家層が買い、5ドルになると機関投資家が買い始めると投資銀行は説明する。

#### 【11 ページ：最近の営業実績】

省略。(補足無し)

#### 【12 ページ：エスクロー】

エスクローとは、インサイダー株主に対する持株の市場での売買の規制のことである。ニューヨーク証券取引所ではSEC144規定として知られる。NYでは6ヶ月から1年に及ぶ場合があるが、オンタリオ・証券取引委員会の規制はNYに比べて緩やかである。また上場企業の業績次第では規制の緩和が出来る。

1. 合併登録直後から3ヶ月間は持株の25%は市場で売買していい。
2. その後6ヶ月毎に25%売買可能。

計算上は最後の1株まで売れるには18ヶ月かかることになる。

しかし前述のように、業績次第で早期に全株市場売買を可能にすることが出来る。

#### 【13 ページ：同類企業からの市場分析】

イメージライブラリー市場は未だ 2D で Getty Images 社と Corbis 社(ビル・ゲーツがオーナー)の二社の寡占となっている。Arius3D, Inc. は 2D より高品質な 3D サービスを行う世界初の上場会社となる。

今後の株価は、Getty と比較すると 35 セントでスタートして、10 倍の 3.5 ドル、さらに 7.5 ドル (20 倍) になってもおかしくない。

もちろんこれはターゲットであって予定ではない。

現行のイメージライブラリーの進展状況から見れば充分可能なターゲットである。

以上は、6 月 28 日、29 日の Mr. Jim McGlone (Arius3D, Inc. 財務担当重役) の追加説明と質問に対する答えをまとめたものである。

#### 【その後の進展について】

※カナダ時間 6 月 29 日、CPC 担当法律事務所は証券取引委員会から IPO 承認の確認を得ました！